

2021 年度 事業報告（各委員会活動報告）

1 総務委員会（委員長：堀口勝人）

- ①会長、副会長、各委員長、顧問で構成した総務委員会を毎月理事会の1週間前に招集(2021 年度はすべてオンライン会議)し、委員会等からの様々な提案事項を検討・審議し、その結果を理事会へ報告または上程した。また、各委員会間にまたがるような日本人会の運営上の課題や中長期の各種課題に対して議論を行い、必要に応じ継続的に審議するようにした。
- ②理事会議事録を作成し、理事会の検討事項・審議内容を正確に記録した。
- ③その他
 - ・2021 年 4 月：経理既定の改定。会計帳簿の電子化の追記、SST 法の追記を行った。
 - ・2021 年 7 月：カーステッカーの更新（2 年ごと）
 - ・2021 年 8 月：MM2H 申請の新条件に関するアンケートの実施（799 件の回答）その後、大使館のご支援を得て、マレーシア政府へ条件緩和の嘆願書を提出。
 - ・アジア域内事務局長会議の実施：今回は KL が幹事役となり、Microsoft Teams を使用したオンライン会議で開催、計 9 개국より全 12 団体が出席。
 - ・2021 年 9 月：2021 年度テナント応援クーポンを発行。会員様のテナント利用を促進。
 - ・2021 年 10 月：会館でコロナ陽性者が出た場合の対応についてガイドラインを策定
 - ・2021 年 12 月：事務局長の契約更新 1 年間（2023 年 3 月まで）
 - ・2022 年 1 月：ワクチン未接種者の特別休会措置を実施。また 2021 年 12 月洪水被災者への義援金募集を行い、3 月 14 日総額 RM45,835 の寄付を、マレーシア赤新月（Malaysia Red Crescent Society）に対して行った。
 - ・2022 年 3 月：JCKL の許認可・ライセンスについて一覧表の更新、日本人会の保険付保の確認、

1-1 規約関係（担当：小沢史朗）

2021 年 7 月：会則改定案を作成し、7 月理事会で承認を得、10 月の年次総会で承認された。2022 年 2 月、関係当局である ROS に変更が承認された。

主な変更点

- ・入会申請の電子化に備え、入会時の署名を不要とした。
- ・臨時総会開催の手続きについて明確化
- ・財務既定の事務局長決裁限度額の引き上げ

所感:環境・慣習の変化を踏まえ、定期的に規約を見直していく必要がある。

1-2 セカンドホーム関係（担当：柳井教男）

- ・2021 年度についても新型コロナ感染拡大及びマレーシア政府による活動制限に伴い、例年通りのイベント開催が出来なかったことから、セカンドホームが関連するボランティア活動は殆ど実績が無かった。
- ・MM2H 申請の新条件に関するアンケートでは、会員ネットワークを通じて非会員にも広く協力を呼び掛け、またマレーシア国内他地域の日本人会にも協力を要請し、799 件の回答を得た。

2 企画広報委員会（委員長：高柳充博）

- ・例年 4 月末又は 5 月初旬に実施してきた子どもの日イベントは実施できなかったが、2021 年 4 月作品提出型のイベントを行い、応募された作品は、会館及び HP に掲載、51 作品 50 名の参加があった。参加者には参加賞を、また委員長賞、特別賞（会員による投票）を選定した。
- ・例年 9 月に実施している秋の味覚を楽しむ会については、コロナウィルスの感染状況、マレーシア政府 SOP の状況、ブータンからの松茸輸入のめどが立たないことから中止とした。

- ・例年 12 月に実施してきた形でのクリスマスイベントは実施できなかったが、2020 年同様、2021 年 12 月作品提出型の「ぬりえイベント」を行い、応募された作品は、会館及び HP に掲載した。合計 154 作品の提出（134 名の参加）があった。参加者には参加賞を、また委員長賞、特別賞（会員による投票）を選定した。

2-1 会員関係（担当：川村延義）

例年、偶数月に開催している「新規入会者の集い」は、コロナウイルス感染症の影響により、2021 年 4 月と 12 月の 2 回のみオンラインで開催し、2021 年度入会者へ参加を呼び掛けた。

2-2 ニュースレター編集委員会（編集長：柳井教男）

- ・毎月初旬にホームページへ掲載、E-mail にて会員へのお知らせを発信してきた。
- ・今年度の編集委員会はコロナによる活動制限により主にオンラインにて、ボランティア編集員を含む編集委員によるニュースレター編集会議を開催し、毎号の編集内容、その時期にあったコンテンツを検討、編集方針を決定。決定内容に従い、編集委員による取材活動、原稿の作成を行い、また寄稿については原稿の作成依頼を行って編集・校正作業を実施し、毎月新鮮な題材或いは時節に則した記事をタイムリーに会員に提供した。

3 財務委員会（委員長：高松文生）

- ・定例理事会にて月次財務報告を実施。
- ・2021 年度は、RM411 千の現金収支プラス、RM98 千の税後利益で着地。
- ・不良債権償却（RM4,510.40）、雑益計上（RM1,316.60）、退会者からの寄付金計上（RM1,797.15）を実施。
- ・2022 年 3 月、会計士費用が予算超過した為、理事会承認後、予備費から振替。

所感

- ・昨年に続き、コロナによるイベント中止やテナント料減少の影響はあったものの、事業収入は予算超過、黒字着地。
- ・今後も会員数の動向に留意しつつ、コスト管理を徹底する必要有り。

4 クラブハウス委員会（委員長：平田順久）

- ・2021 年 12 月：会館東側斜面からの漏水調査(毎年)。特段悪化の変化なし、来年度も実施予定
- ・2021 年 12 月：屋上漏水工事実施
- ・2022 年 2 月：会館中央部シロアリ対策工事
- ・2022 年 3 月：会館南側建設予定マンションに関連し、当会南側敷地（斜面部）の斜面造成工事およびゴミ収集バケット置き場建設工事を業者負担にて施工してもらうとの決定

4-1 クラブハウス将来計画小委員会（委員長：平田順久）

2021 年 5 月：2021 年 3 月 31 日終了 2020 事業年度の決算では、約 666 千リングの現金収支プラス、479 千リングの税引前利益という結果となり、当小委員会内で 2020 年度の新会館建設積立金計上額を検討した結果、666 千リングを積立てることを理事会で決議し、2021 年 10 月の第 57 回総会で報告を行った。

・2022 年 3 月 31 日事業終了の 2021 年度の決算では、約 411 千リングの現金収支プラス、約 113 千リングの税引き前利益という結果となり、当小委員会内で 2021 年度の新会館建設積立金計上額を検討した結果、約 411 千リングを積み立てる事を理事会で決議し、2022 年 6 月の総会で報告を行う予定。

所感

・クラブハウスは 1976 年、1985 年、1993 年の 3 期に亘り建設されている。当初 1976 年から 50 年後の 2025 年頃の建て替えを計画していた。しかし、昨今の財政その他の要因もありこれを延命させ、2045 年頃の建て替えとなるよう現在は想定している。

・建物延命のためには、必要な改修工事（建屋および付随設備の改修等）、建物構造、敷地東西の斜面補強工事、ゲート入り口の人工地盤等の耐久性の定期点検等が必要となるため、コンサル会社に入ってもらい、今後中長期的にメンテを実施していく計画としている。

5 店舗委員会（委員長：安部智晴）

・2021年8月：会館テナントの変更（Sunrise Tours and Travel→Asahi Vacations Travel & Tours）

6 文化活動委員会（委員長：伊藤紀子）

・2022年3月末現在、部活動：16、同好会活動：31 合計：47の部・同好会が活動。廃止5（囲碁部、KLスクエアダンス同好会、ウィーブダンス同好会、おはなしひろば部、IT活用研究会）、休会中2
・2021年度日本語講座は、MCOのため開催できなかった。
・JFKL主催、KL日本人会が協賛している日本語弁論大会はコロナウィルスの影響で中止となった。

7 スポーツ活動委員会（委員長：小幡貴志）

・2022年3月末現在、部活動：12、同好会活動：9、合計：21部・同好会が活動。廃止2（アスタカサッカー、チアリーディングスマイリーズ）、休会中1
・2021年10月：イベント申請：マレーシア剣道協会50周年記念行事の承認
所感
・コロナに対する規制が緩和するに伴い、活動の活性化が期待される。一方、引き続き、感染対策に留意した活動を働き掛けていきたい

8 学校委員会（委員長：香取龍太）

1) 園児・児童・生徒数の推移

2021年は2020年に引き続きコロナ禍による行動制限が1年を通じて断続的に継続したことで、園児・児童・生徒の減少が止まらず、年度初めには約60名減少し、その後も低下傾向が続いた。

2021年度 園児・児童・生徒数の推移

年月	幼稚部	小学部	中学部	合計
2021年3月	65	444	109	618
2021年4月	45	415	94	554
2022年3月	49	389	86	524

2) 学校教育目標と教育の重点

2021年度も昨年度に引き続き、年間を通してコロナ禍にともなう断続的な休校措置が取られる中ではあったが、学校教育目標は、前年同様「たくましいからだ、ゆたかな心、優れた知性と国際性を備えた児童・生徒の育成」とし、その「めざす学校像」は「入ってよかった、通わせてよかった、勤めてよかった JSKL」、「めざす子どもの姿」は「元気で最後まで取り組める子、誰にでもやさしく出来る子、夢を持って世界へはばたける子」、「めざす教師像」は「優れた授業で勝負する教師、子どものよさを育て共に成長する教師、常に努力を惜しまない教師」を掲げ、休校期間中、分散登校時においてもオンラインを基軸とした教育活動を推進した。

3) 学校経営3本柱の実践

2021年度もコロナ禍に伴う休校措置が断続的に続き、ほぼ年間を通じてオンラインで学校と学習者を繋げて授業や教育活動を展開してきた。そうした中、2018年度より取り組んでいる①ICT教育の充実、②英語教育の充実、③心の教育の充実、の3本柱の学校経営計画は継続して強化推進した。特に①は、今年度PC、タブレット端末が各家庭で準備されていたことや全ての担任にZoomアカウントを付与したことで、円滑なオンライン授業の発信・受信が可能となった。また、教材作

成や授業での活用のための教員研修にも取り組み、全ての先生がオンライン授業の質の向上を図ったことで、11月から始まった分散登校では、対面授業とオンライン授業をミックスさせたハイブリッド型授業を行うことができた。②は、ECコーディネーターの一貫性ある学習方針と現地教員の労務管理等が実現したことで、EC部として統制の取れたEC授業を行うことができた。③は「ゆたかな心の育成」を目標に掲げ、道徳教育の充実や日々の工夫した教育実践を通して、互いに学び合い、高め合う学級集団になるよう継続的な指導を展開できた。

4) 2021年度（令和3年度）予算・決算

①学校一般会計（小中学部）

小中学部の年間平均児童生徒数は前年から大幅な減少を予想し594名（前年比91%）と見込み、単年度予算収入は8,650千リンギ、同支出は8,791千リンギとした。収入実績は予算より更に生徒が減少し、授業料収入が予算を下回るも（予算比91%）、政府援助等により全体では予算比96%、前年比85%で着地した。

一方で支出は2020年度同様、断続的な休校措置と教育省SOPによる各種行事の制限等に伴い、光熱給水費、委託管理費、行事費等が低下すると共に、収入減を見据えて不要不急の支出を先送りする等の対策を行い全体では予算比87%、前年比92%となり、収支は642千リンギの黒字で着地した。

②学校一般会計（幼稚部）

幼稚部では園児数の減少傾向を勘案して55名（前年比86%）と見込み、単年度予算収入は1,150千リンギ、同支出は1,307千リンギとし、収支は-157千リンギの赤字予算とした。収入実績は予算より更に園児数が減少し大きく予算を下回った（予算比94%、前年比86%）。支出は各種コストをコントロールするも固定費を中心に削減難しく、268千リンギの赤字となった。

③学校維持会計

学校維持会計は、学校施設に付随する各種設備等の調達・保守・維持を扱っている。収入は園児・児童・生徒数の減少で、維持資金そのものは予算を下回ったが、政府援助等で全体では予算に対し102%で着地した。支出は、休校措置や教育省SOPによる業者の入校制限等による修繕費、保守工事費を中心とした消化減に加え、全世界的なIC不足によるIT関連機器の調達困難等で予算通りの費用消化が進まず、予算比86%で着地した。

④新校舎会計

新校舎会計は、学校の校舎、施設等の固定資産管理と、現スパン校舎建設から50年後（2042年）の校舎建替えの為に資金積み立てを目的として運営している。今年度の資金収入は生徒減少で予算割れ、支出は校舎改修工事費用を予算化したが、コロナ禍の影響による工事の大幅遅れで、予算を大きく下回る。

（預金残高：実績37,420千リンギ、前年差832千リンギ増）

- 5) 学校運営の管理体制強化の一環として、今年度より日本人会事務局から、事務局長をオブザーバーとして学校運営理事会に参画して貰う様にした。また日本人会名義である新校舎会計を財源とする学校の大修繕プロジェクトのタスクフォースへも、監視役として参画して貰うこととした。

所感：2020年に引き続きコロナ禍に伴う休校措置や教育省SOPによる各種制限の影響で園児・児童・生徒数が減少し、減収となった。特に幼稚部は月平均園児数が45名迄低下、2022年度新学期に入って園児の減少傾向に歯止めがかかる兆しも見えるが、園経営は予断を許さない状況が続く。また、学校運営体制の整備については、順次、諸課題について理事会で共有しながら整理を推進してきたが、未だに課題は多い。2022年度はコンプライアンス、法務の専門家と業務委託契約、或いは顧問契約という形で支援を受けられる体制を整え、一気に運営体制の再構築を進める予定であり、理事会としても積極的に関与していきたい。

9 教育施設管理委員会（委員長：吉田敏彦）

- ・2021年4月：帝京マレーシアよりオーレックストラベル跡地の追加賃貸
- ・2021年8月：帝京マレーシアとの基本賃貸契約の更改（2021年9月～2024年8月）

- ・2021年10月：帝京マレーシアとのすみれルーム賃料改定
- ・2021年12月：帝京マレーシアと日本人会の覚書更新。2018年1月より会館の使用に関する1年間の覚書を締結しており、来年度分について同社と覚書を取り交わした。
- ・幼稚園との賃貸契約更新（2021年4月～2024年3月）

10 福利厚生委員会（委員長：小野澤麻衣）

- ・はぐくみ会、出産準備教室・・・20年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できなかった。
- ・予約制オンライン無料健康相談・・・21年1月から月1回の頻度で、バトよしみ医師によりボランティアで実施していただいている。21年度も継続して行い、59名の利用があった。また、7月～11月には週1回の頻度で、新型コロナウイルス感染に関する相談も実施頂き、29名の利用があった。参加者からは、「先生からのアドバイスで日頃の対策の知識が増えた」、「健康面での不安が解消された」といった声があがっている。
- ・オンラインヘルストーク開催・・・21年8月、マレーシア保健省傘下の Malaysia Healthcare Travel Council 及び Sunway Medical Centre の協力により新型コロナウイルス感染症及び同ワクチンについてのヘルストークを開催した。58名（聴講者50名＋発表者、事務局8名）の参加があり、感染予防策やワクチンの種類などについて説明した。

所感

- ・はぐくみ会、出産準備教室については、安心して参加できる環境が最重要となるため、新型コロナウイルス感染拡大状況などを踏まえると、開催に至らなかったことは致し方ないと思料。次年度以降、感染拡大状況や、開催に重要となるボランティアの協力状況などを勘案しながら、再開の可能性を追求したい。
- ・オンライン無料健康相談については、まずボランティアで協力頂いているバトよしみ医師に心から感謝を申し上げたい。医療面、政府規制面など不安材料が多い中、医師に相談できる機会は意義深い。次年度も、医師によるボランティアでの協力可能性を確認しながら、継続する方向で進めたい。
- ・オンラインヘルストークについても、フィジカルでの開催可能性も確認しつつ、ニーズが見込めるテーマ設定の下での開催を検討していきたい。

11 日本人墓地維持管理委員会（委員長：万代利夫）

- ・マレーシア全土が依然としてMCO下にあり、恒例の春秋の慰霊祭はSOPの遵守のため、前年度と同様に開催不能となり有志による焼香、献花を実施した。（秋季2021年9月26日、春季2022年3月6日）
- ・パハン州ベントンで発見された日本人墓碑をクアラルンプール日本人墓地に移送すべく、移送業者が現地を確認したところ、現場が無許可で整地されており墓碑が行方不明となっていることが判明した。
- ・SOPの一部が緩和され、州越えが可能となったので、現地警察被害届を提出、2022年1月にパハン州政府州務担当の主催でベントン市当局、公有地管理事務所、警察など関係者の合同会議が開催され、墓碑の再捜査をベントン警察が行うことが確認された。
- ・安倍晋三前総理が岸田首相の特使として日馬外交関係樹立65周年並びに東方政策40年を記念して、宮川元大使他政府関係者等と共に来馬、日本人会会長、日本人商工会議所会頭などの関係者の出迎えを受けて、クアラルンプール日本人墓地を訪問し記帳、焼香、献花が行われた。

所感

ベントン市関係者と密に連絡を取り、日本人墓碑の所在を確認し在マレーシア日本大使館の協力を得て、墓碑移送を速やかに実施し、ベントン日本墓地のパハン州政府への返還を含む諸手続きを行う必要がある。MCO, SOP の解除、緩和状況によるが、本年9月には日本から導師を招聘し3年ぶりの慰霊祭を実施できることを期待している。

12 ITシステム委員会（委員長：柳井教男）

・2021年5月にテストデータ移行をし、テストを継続中。引き続き、テストを行い、実施段階まで改善を重ねていく。

13 盆踊り実行委員会（2021）（委員長：岡本豊勝）

新型コロナウイルス蔓延防止の為にマレーシア政府による活動制限令で、大規模イベント実施の許可が出ない事、会場周辺の協力企業もコロナ対策優先で準備が出来ていない事、またその他関係団体からの意向も踏まえ、感染防止の観点から、第44回に続き、第45回KL盆踊り大会の開催を中止した。

14 バザー実行委員会（2021）（委員長：小沢史朗）

新型コロナウイルスの影響により、マレーシア政府SOP遵守の為に、規模を縮小して開催することとした。その後の感染状況、SOP再変更も踏まえ、2021年12月12日（日）10時30分～15時、第49回チャリティバザーをKL日本人会第1ホールにて開催した。当日は来場者約340名。（関係者ボランティア含む）バザー売上げ収益と皆様からの現金ご寄付から次年度の会計監査費と税務申告費の積立金等を除いて、約RM51,400を11ヶ所の福祉施設に寄付する提案を、JCKL慈善基金に対し行った。所感：前回（2021年3月）に続き、規模を縮小して会館で開催したが、12月開催により、クリスマスや新年用の手芸品を出品することが出来た。

15 新年会実行委員会（2022）（委員長：本村努）

2022年1月8日に第27回新年会を、会館内にて開催した。SOPに準拠し、警察への申請、許可を得て実施。例年実施していた駐車場でのステージや出店はソーシャルディスタンスのコントロールが難しいため取り止め、館内限定のイベントとした。餅つきは子供の体験の為のみとし、ついたお餅は配らず、代わりに切り餅をお土産にご来場いただいたみなさんへ配布（500名限定）した。第1ホールのステージでは、JSKL園児及び部同好会の発表が行われたが、ホールの収容人数約60名を超えないよう、入場制限等を実施して人数をコントロールしながら行った。また子供たちの楽しめるコーナーとして、ヨーヨー釣りや射的を実施。500名程度の参加者があり、事故・怪我無く、無事終了した。

16 海外安全関係（担当：山田元一郎）

新型コロナウイルス感染症対応に関して、
・マレーシア政府による出入国管理情報、活動制限令等について
・日本政府による水際対策強化に係る措置等について
それぞれ情報提供を行った。

17 婦人部（担当：星合大）

■ 地元への社会貢献 ■

(1) ボランティア訪問支援活動

新型コロナウイルス及びオミクロン感染拡大を防止するため、下記(i)と(ii)の施設での活動が中止されたが、下記ボランティア活動を行った。

(i) PJ スパスティックセンター音楽セラピー（Spastic Children Association of Selangor & W.P）ロックダウン期間中、8月～10月 週一回 09:00～09:45 オンラインにて子ども達と音楽に合わせた運動。

(ii) ブキナナス身障者施設（Asrama Cahaya Rumah Wanita Cacat, Jalan Bukit Nanas）6月～8月 週一回 10:30～12:00 日本人会会議室にてチャリティバザーのための手芸品製作。2022年2月 日本人会ロビーにてブキナナス身障者施設ボランティア主催施設入居者が製作した手芸品の販売会。

福祉施設(i)と(ii)ボランティアグループ連絡係とかとれあ会役員との連絡会を6月と2月に開催した。

(2) 慈善活動・行事関連

(i) 寄付先福祉施設との交流

- ・ 10月と11月 2020年度の寄付先福祉施設6箇所へ訪問。
- ・ 3月 オンラインにて寄付先福祉施設2箇所へバーチャル訪問。

(ii) チャリティバザー関連

- ・ 6月～12月 バザー活動の一環として、バザーサポーターの皆さんと連携してバザー活動。
- ・ 9月～12月 チャリティバザー開催に向けて準備と協賛品・手芸品の値付け作業、販売品納品手続き、バザー実行委員会に出席、日本人会窓口でマスク無人販売。
- ・ 11月 かとれあ KIOSK を開催。
- ・ 12月12日(日) KL日本人会第1ホールにて第49回 KL日本人会チャリティバザー2021を開催
チャリティバザー活動収益金(法人会員からの寄付金を含) : RM76,579.00
- ・ 2022/4/14(木) バザー収益金ドネーション贈呈式を行い、マレーシアの11福祉施設に対し総額 RM51,400 を寄付。

■日本人会関係イベント■

以下の日本人会開催イベントに協力

- 1) 1月 日本人会新年会のお手伝いとして参加
- 2) 9月 秋の墓参のお手伝いとして参加
- 3) 日本人会新規入会者集いのスピーカーとして参加(かとれあ会活動の説明)

■日本人学校PTAとの交流■

かとれあ会役員、バザーサポーター、PTA 役員の選出に際し、連携。

所感

新型コロナウイルス感染拡大防止の為の様々な活動制限がある中、かとれあ会がマレーシアの福祉施設訪問、チャリティバザー開催、WEB 会議開催及び地元の福祉施設に対する支援を行ってきたことを拝見し、感銘を受けると共にかとれあ会の皆さんの努力には大変感謝しております。

特にチャリティバザーやかとれあ KIOSK などを通じて収益金を11福祉施設に寄付する事が出来たことは素晴らしい活動だったと思います。ドネーション贈呈式での福祉施設の方々からの感謝の言葉と嬉しそうな笑顔を見て、かとれあ会の社会貢献活動は欠かせない活動であると感じました。

そして改めて49年の長きに渡りチャリティ活動を継続してきた尊さを思い、かとれあ会は福祉のみならず日馬友好へ大きく貢献しているのだという思いを強く致しました。

これからも、会員の皆様が気楽に参加して喜んで頂けるような企画運営を通じて、社会福祉と日馬友好に貢献し続けて頂きたいと思います。

18 全マレーシア日本人会 (担当:堀口勝人)

第42回目のマレーシア全日本人会連絡会が、2021年10月1日(金)オンラインにて開催された。

(KL日本人会が幹事)12か所の日本人会のうち、今回は8か所の代表が参加した。

また、同時に大使館主催で第40回安全対策協議会が開催され、外務省海外安全ホームページから、感染危険情報、危険情報について、及びマレーシアの安全情報が共有された。

以上

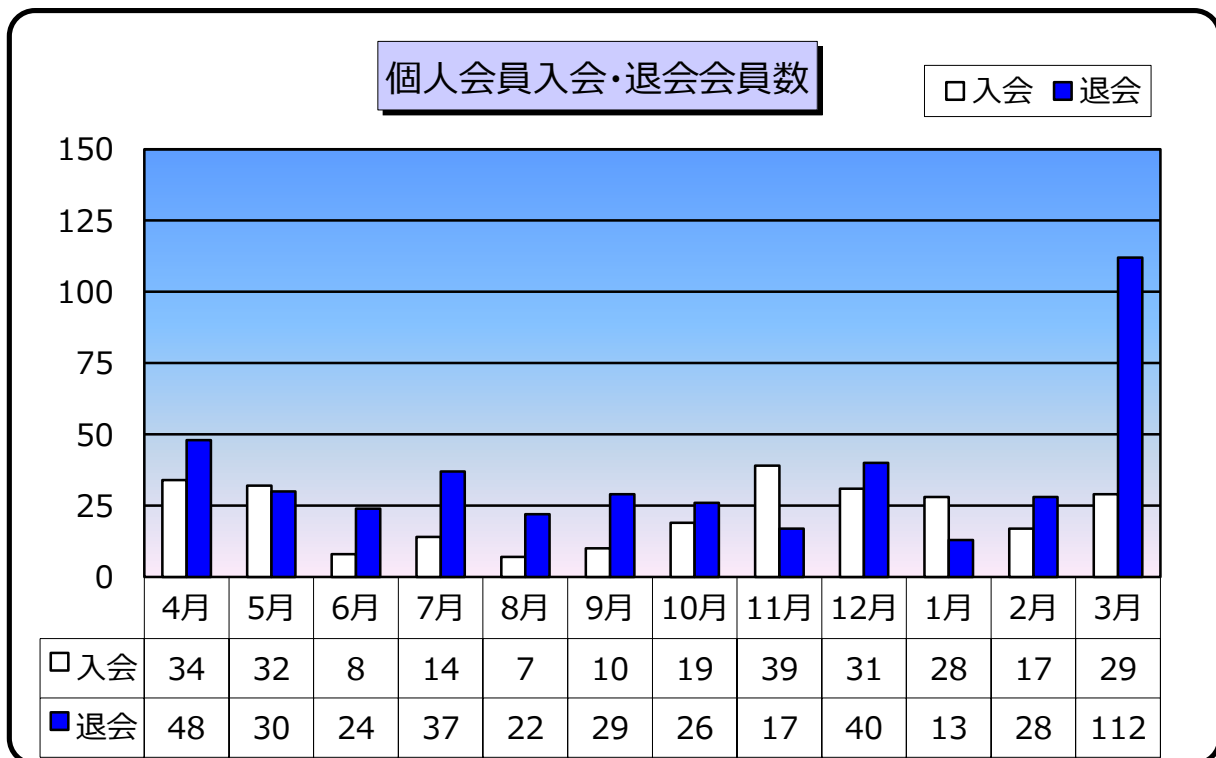
K L 日本人会 会員数推移

2021 年度

(2021年4月～2022年3月)

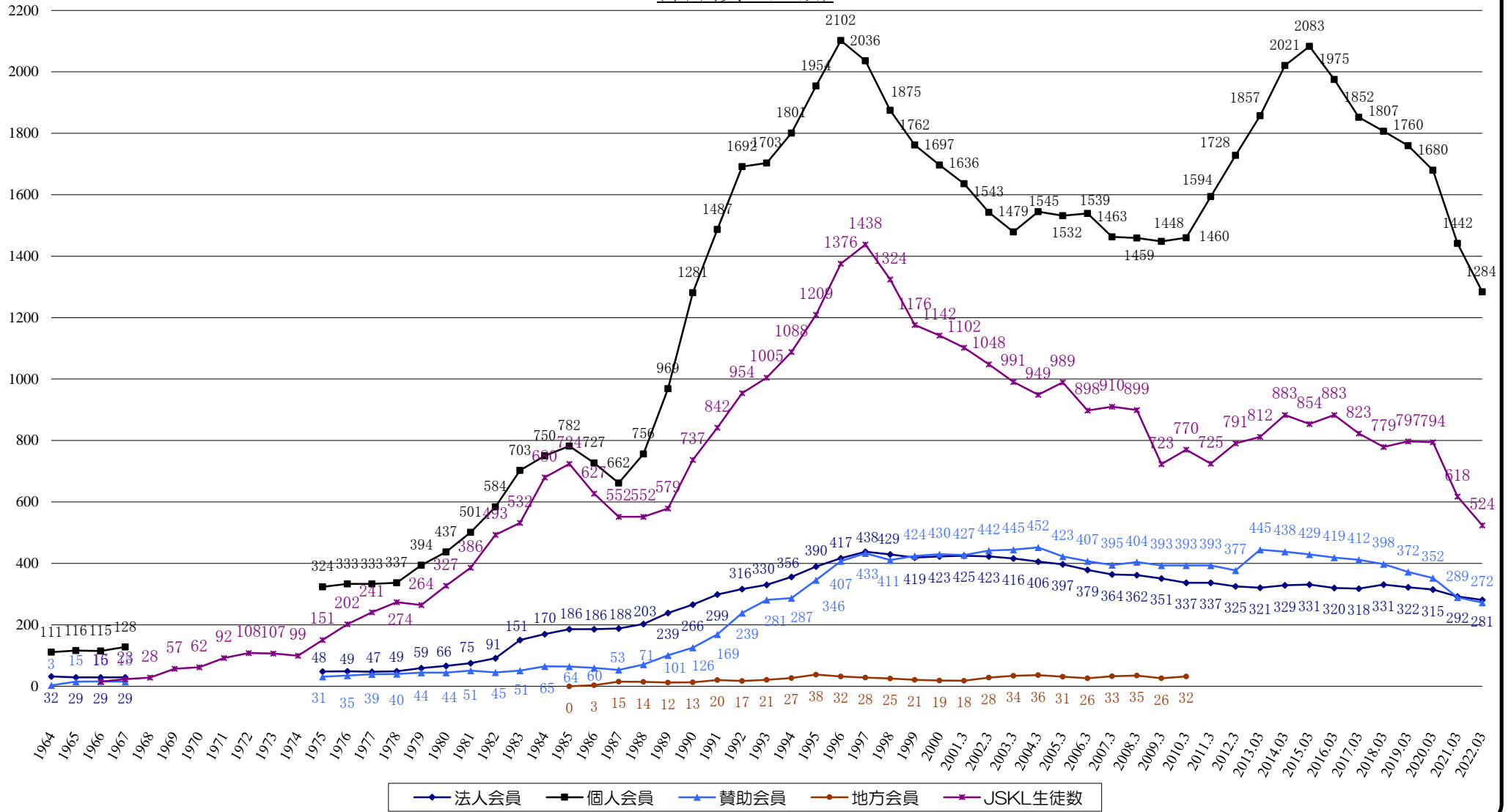
	入会会員数				退会会員数				会員数					
	法人	個人	賛助	学生	法人	個人	賛助	学生	法人	個人	内 MM2H	賛助	学生	
									292	1442	3363	263 / 486	289 / 554	7
4月	0	34	4	4	3	48	4	1	289	1428 / 3350	259 / 480	289 / 556	10	
5月	1	32	2	1	1	30	5	0	289	1430 / 3341	253 / 467	286 / 549	11	
6月	0	8	0	0	0	24	3	0	289	1414 / 3309	247 / 456	283 / 541	11	
7月	0	14	0	0	2	37	8	3	287	1391 / 3217	240 / 441	275 / 520	8	
8月	0	7	2	0	0	22	5	0	287	1376 / 3186	238 / 437	272 / 520	8	
9月	0	10	0	0	2	29	5	0	285	1357 / 3139	233 / 431	267 / 507	8	
10月	1	19	1	0	3	26	3	2	283	1350 / 3095	229 / 419	265 / 505	6	
11月	1	39	2	1	1	17	1	0	283	1372 / 3143	228 / 413	266 / 507	7	
12月	1	31	1	0	2	40	3	1	282	1363 / 3147	220 / 399	264 / 505	6	
1月	0	28	1	0	0	13	5	1	282	1378 / 3193	215 / 390	260 / 498	5	
2月	1	17	12	0	0	28	3	0	283	1367 / 3161	211 / 383	269 / 516	5	
3月	2	29	6	1	4	112	3	0	281	1284 / 2917	204 / 371	272 / 519	6	
合計	7	268	31	7	18	426	48	8	※ ※					

※ 会員数 / 総数(含家族会員数)



KL日本人会会員推移グラフ

(年/会員タイプ別)



◆ 法人会員 ■ 個人会員 ▲ 賛助会員 ● 地方会員 × JSKL生徒数